



マテリアル・トレイディング 第4回希土類会議

の参加
学参
官人
産100人

レアメタル商社マテリアル・トレイディング・カンパニー(本社)東京港区、小滝秀明

社長)の主催する「希土類会議シリーズ第4回」蘇る日本の希土類戦略」が5日、東京の

田町カンファレンスセンターで開催された。写真。産官学の幅広い分野から、レアメタル関係者ら約100人が集い、需給や技術開発の最新動向を熱心に聴講した。

小滝社長が冒頭あいさつに立ち、希土類価格の不安定感、不透明感に触れ、「決して油断せず、慎重

に歩まねばならない。世界遺産に登録された富士山のように、『晴れてよし、曇りてもよし』のレアアース業界でありたい」と述べた。

出席者代表であいさつした大木雅文・経済産業省製造産業局希有金属室長は、「レアアース産業の未来に向けて、このような会議の場が糧になると期待している」と話した。

講師と講演タイトルは次の通り。
▽アレクサンダー・

レモン・ムカンゴ・リン
ーシス社長「マラウイ共和国での希土類探査プロジェクトについて」
▽渡辺寧・産業技術総合研究所主席(上席) 研究員「希土類資源供給の今後」
▽原田幸明・物質・材料研究機構特命研究員(元素戦略)「資源リスクとリサイクルの全体像の中のレアアース」
▽嘉数隆敬・大阪ガス本社支配人・理事「燃料電池開発とレアアース」